

二学年通信 (第18号)

泉松陵高校第二学年
2016. 1. 20

総合学力テスト②(進研模試)の結果について

二学年主任 小野木 徹

昨年の10月30日(金)～31日(土)に実施された進研模試から、受験科目数が大幅に増加しました。従って、科目数の多さに対応しきれずに思うような結果が得られなかった者もいたかもしれません。先月末までには各クラスで結果が配付されたはずですが、いかがでしたか? このあとに実施される模試は、ほとんどが前回同様の実施形態になりますので、慣れておきましょう。当然、**1月22日(金)～23日(土)に実施される進研模試**に関する情報も同様です(日程など詳細に関しては、クラス掲示のプリントや前回の二学年通信[第17号]でもう一度確認しておきましょう!)

繰り返しになりますが、模試は受けっぱなしでは力になりません。つまり、学力を高めるためには「復習」することが最も重要になります。解けなかった問題を反復して復習することによって、自らの力となるはずですよ。

下記には、先生方からのアドバイスを掲載しました。何度も言いますが、模試の問題は極めてレベルが高く、君たちにとって問題を解答する作業そのものが困難だと思われまふ。しかし、目標は模試で高得点を取るのではなく、志望校への合格なのではないですか? つまり、入試に対応しうる学力を身につけることが必要なわけですから、一にも二にも**復習あるのみ**です。しっかりと目を通した上で、今週末の模試に活かしていきましょう。

なお、模試終了後には、ベネッセ主催の「**高2冬の進研模試復習LIVE!**」という**Webを通じた復習講義**も行われます(別紙プリント参照)。「進研模試デジタルサービス」へのログインが必要になりますが、Webへの接続環境を整え時間をみつけて取り組んでみましょう!

★各教科担当の先生方からのアドバイス

① 国語

【評論】あまり読み慣れていないタイプの評論であるが、論旨は明快である。設問もほぼ適切であり、落ち着いて取り組めばそれなりに得点できる。

問一の漢字は難しくないので、二問は正解したい。問二は5～11行目の内容をまとめればよい。問三は15行目の「制裁の予告によって我々の自由を奪っていく」が大きなヒントとなる。問四は17～39行目の論理が読み解けないとわからないが、誤答の選択肢に本文の内容と合わない表現が露骨に入っているのが、判断しやすい。問五は難しいが良問。65行目以降の内容を元にすればまとめられる。「治安維持や裁判」という言葉を使うべきだと見破るのが難しいかもしれない。しかし、「平等」は2回出てくるのでキーワードだとすぐわかる。問六は難問。解けなくてもしかたないか。

【小説】平易な言葉を用いた読みやすい小説ではあるが、文脈を読み取るためには、細心の注意が必要である。

問一は語句の意味。「喧噪」は単に「騒がしい」という意味であるので、余計なニュアンスの入っていないものが正解。「反芻」は「繰り返し味わう」ことの比喩として用いられる。問二は易しい。「その少女」とは飛鳥のことであるから、アカウに絞られる。問三は46行目「彼が天才だと確信している少女」、56行目「彼女は、凄い力で～震えている」、58行目「こいつ。～本当は、きっと。」などの表現がヒントになる。誤答の選択肢に本文の内容と合わない表現が露骨に入っているのが、その点からも判断しやすい。問四は響子が飛鳥をどう思っているか確認しないと解けないので、傍線部よりずっと前である23～42行目の内容も確認する必要がある。問五は難しいが良問。異の相反する二つの気持ちを説明できなくてはならない。125行目からそれまでの調子と変わってきており、131行目「飛鳥が遠くに見えた」、133行目「淋しさとが同時に湧いてくる」などの表現を押さえると、飛鳥を後押ししたい気持ちと飛鳥が自分の手の届かない存在になるのを淋しく思う気持ちの両方が読み取れる。人の気持ちが複雑であることを文脈を丁寧に追うことで読み取ってほしい。

【古文】全国・県平均と比べて得点率が低かったのは、問三・問四・問五でした。いずれも内容に関する設問です。入試や模試の問題は、大抵の場合、初めて見る文章ですので、限

られた時間で完璧に読みこなすのはとても難しいことです。そこで、おおよそのあらすじをつかむことが必要になってきます。そのためには、やはりリード文をよく読むことです。これは前回も書きましたが、リード文は問題を解く上で「必要だから」付けられているのです。「リード文をよく読み、本文を繰り返し読む」これが内容理解の第一歩です。また、もう一つ大切なことがあります。それは、主語を押さえることです。今回の問題でいえば問五がそれにあたります。文脈上、「かやうの人(このような人)」＝「北の方」であることが押さえられていれば、選択肢を一つに絞るのはそれほど難しいことではありませんよね。

【漢文】漢文は「残念」の一言です。何が残念だったのか。それは、受験時期です。あと一か月遅く受験していれば、確実に得点が上がったと思います。なぜなら、今回の設問の中には、11月以降の授業で扱った重要語句・句法がいくつか出題されていたからです。例えば、「於是(ここにおいて)」・「夫(それ)」・「故(ゆえに)」・「左右(側近)」・「豈～哉(どうして～か、いや～ない)」などです。まだ模試の復習をしていない人がいれば、ぜひとも復習してください。「あれ、この問題、最近授業でやったぞ」という実感を持つはずですよ。模試は、現在の自分を知るためのものであると同時に、未来の自分を作るための有効なテキストでもあります。大学入試本番に向けて、同じ失敗を繰り返さないように、しっかりと復習して知識を定着させてください。

② 数学

第1問の小問集合は、偏差値50以上の人は正解率約8割以上でした。偏差値45未満の人は正解率が約3割にとどまっています。まずは幅広く過去に習った基本例題の解法を頭に入れる学習が必要です。ここでの得点率を上げなければ成績の向上は望めません。必修問題の第2問図形と計量は偏差値50以上の人は少なくとも(1)は解けているようです。まず(1)は基本問題ですので解けるようにしよう。同じく必修問題の第3問式と証明・高次方程式は(1)からやや難しかったようです。選択問題は、図形と方程式、三角関数、ベクトルから2題。いずれも偏差値50以上の人は(1)を解けているようです。(1)は本当に(問題によっては(2)も)教科書にのっている例題レベルですので、授業で習ったことをしっかりと身につけるよう復習してください。

③ 英語

偏差値の平均に関しては、1年の7月以来ほぼ横ばい状態で、低下状態ではないが全国平均にはまだ及ばない状況である。問題の正解率に関しては、リスニング・発音・アクセント問題はほぼ全国平均だが、低いのはやはり“文法・語法”と“長文読解”である。これらは本校生徒だけではなく、多くの高校生が苦手とする分野であり、最も点数の開きができる分野である。

これらを克服するにはどうしたらいいのか。模擬試験の度に行っているが、地道にコツコツと積み上げるしかない。まず、1年の時から言い続けているが、独自の単語帳を作っているのはどの位いるだろうか。たまに、“先生、単語帳作ったよ”と報告してくれる生徒もいるが、君たちはどうだろう? また、どんな長文でもいいから、毎日読んで長文に慣れる訓練をなさいとも言っているが、どうだろう?

ここでもう一度言います。文法に関しては、中学の分野を総ざらいしなさい。語彙を増やしなさい。長文は毎日読みなさい。語学は一朝一夕では決して上達しない。合格したければ、地道に努力し続けなさい。受験するのは君たちだ。まずやりなさい。

④ 物理基礎

基本問題で是非解いてほしい問題は大問1の問1, 2, 3, 4, 6, 大問2の問1, 2, 3, 5です。これで32点(64%)です。他の問題も標準レベル程度なので受験で物理を選択する人は出来るようにして下さい。

物理は問題演習をコツコツやるとかなりできるようになります。ニューアチーブの「練習問題」に地道に取り組んで下さい。「練習問題」ができないときは、「まとめ」「基礎チェック」に戻って下さい。意思あるところに道はできます。頑張ってください。

⑤ 化学基礎

あと3問正答すると全国平均点に達します。そのためには、以下の基礎基本問題ができるようになればいいだけです。**1**の問1～3、**2**の問2、問4の5問です。受験後には必ず解答解説を用いて見直しを行い、同様の問題を以降は正答するように心がけて下さい。

⑥ 生物基礎

受験科目に理科が加わった最初の模擬試験ということで、出題内容は定期考査レベルの基本的なものでした。「ちょっと復習しておけば解けたのに！」と思った人も少なくないでしょう。次回からは、是非、1年次の学習内容を見直してから受験し、高得点を狙ってください。

⑦ 地学基礎

地震と断層に関する分野について：問2, 5は難しい問題でした。しかし、出題者の意図をとらえると、解法が見えてきます。作図する構想力を身につけよう。プレート運動に関する分野について：問8, 9は図3を正確に読み取ることができるかが勝負の分かれ目でした。形成年代から、プレートの移動方向をしっかりとつかもう。地球の歴史に関する分野について：問4はパズルを解く感覚が必要でした。落ち着いて該当部分をしっかりとチェックしよう。問6, 7を解くためには、教科書P.123の表3, 図16をはじめ、地質時代とおもな出来事をおさえておくことが大切です。くり返し、覚える努力を継続しよう。

⑧ 化学

あと9問正答すると全国平均点に達します。そのためには、以下の基礎基本問題ができるようになればいいだけです。①の問1～3、②の問1～4、③の問4、問7、⑤の問1、問3～4の12問です。受験後には必ず解答解説を用いて見直しを行い、同様の問題を以降は正答するように心がけて下さい。

⑨ 日本史B

問題は基本的な内容がほとんどで、教科書をしっかりと学習していれば解ける問題でした。偏差値でいえば例年並みというところですが、まだまだ点数を伸ばす要素はいっぱいありました。まずは、文章題です。問題は決して難しいものではなく、教科書の記述を書けば○というものばかりでした。また、語句を直接書く問題も平均が低く、しっかりと漢字で書ける力を身につけていってください。いずれも、教科書をやっていけば解ける問題なのですが、年表の形で覚えていくことも忘れないようにしてください。教科書は横並びなので、縦に直す作業は絶対に必要です。頑張ってください。

⑩ 地理B

諸君には、まず普段の授業をしっかりと受けてもらいたい。基礎が出来ていないと、こういう問題には太刀打ちできない。もうひとつ。地理は暗記科目ではない。「地図を使って考える」「統計・写真から地理的事象を読み解く」など、いわゆる地理的技能の鍛錬が、日頃から求められているのである。

⑪ 倫理

今回の出題範囲のうち、A1～A2は既習事項だったので正解率が高かった。A1は、キリスト教と仏教についての基本事項。教科書レベルの問題である。A2は「家族をめぐる思索」とあるが、人間の「愛」について、儒教、仏教、ギリシア哲学、イスラム、キリスト教のそれぞれの教えについて問うた問題。これも教科書レベルの問題。A3は、現代の情報と青年期の問題。問1はフロイトの防衛機制(反応)で、保健でも学習した内容。「情報化」については、「情報」の授業とも関連があるが、教科書p.207～210に載っている基本事項(未習)で、半ば常識的な問題である。

A4は、日本仏教史(未習)からの出題。宮澤賢治を引き合いに出しているが、賢治が熱心な日蓮宗(法華宗)の信者だったということを知っていると、読解しやすかっただろう。文学の知識も教養のうちで、これは常識。「日本史」の中世までの思想史を知らないとは解答できないだろう。奈良・天平時代と聖武天皇、東大寺・国分寺、平安初期の最澄(天台宗)、延暦寺、空海(真言宗)と高野山の金剛峯寺(こんごうぶじ)、鎌倉時代の禅宗を伝えた高僧たち、栄西と臨済宗、円覚寺、道元と永平寺(福井県)、「正法眼蔵(しょうほうげんぞう)」, 親鸞と師の法然、法然の浄土宗(専修念仏)と親鸞の浄土真宗、「教行信証」「歎異抄(たんにしょう)」(出題文に引用されているが、大変に有名な古典)など、必修の基本事項が並んでいる。

倫理が面白いから、社会の大学受験科目にしたいと思っている人にひと言。教科書は薄いけれど中身は高級なので、そう簡単ではない。高2の必修2単位だけで受験できるほど、

センターも私大(文系)入試も甘くない。日本史, 世界史, 政経の政治思想史までも含んだ幅広い知識を必要とする科目なので、安易に選ばないこと。記述に耐える国語力を持たないと私大入試では勝負できない。○×式や記号は期待できない。センターで選ぶ人は、長い問題文を速読して意味が分かるだけの読解力が必要。面白いから易しいわけではない、と断っておく。

◎成績相関表(英数国総合)

2015年度 進研模試 2年生 1月 記述	80.0以上	79.9～75.0	74.9～70.0	69.9～65.0	64.9～60.0	59.9～55.0	54.9～50.0	49.9～45.0	44.9～40.0	39.9～35.0	34.9～30.0	30.0未満	3人 成績上昇 グループ		6人 前回・今回とも成 績上位 グループ	
													人数	割合	人数	割合
合計	271	3	54	108	76	26	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
238人 前回・今回とも 成績下位 グループ	合計	30.0 未満	34.9 ～	39.9 ～	44.9 ～	49.9 ～	54.9 ～	59.9 ～	64.9 ～	69.9 ～	74.9 ～	79.9 ～	80.0 以上			
		30.0	35.0	40.0	45.0	50.0	55.0	60.0	65.0	70.0	75.0					



※自分がどの位置に居るのかを、上記グラフで確認してみよう！斜めの網掛部分より上の者は、前回(7月模試)から成績が上昇していることとなります[今回は、**60名の生徒が前回模試よりも成績が向上**しました]。

※まずは、毎回安定的に偏差値40のラインよりも上になるように心がけよう[前回は106名、今回は92名が該当します。また、前回・今回共に40以上の生徒は58名になります。]

※理社に関しては今回が初めての受験ですので、前回模試との比較はできません。